

## 第6回口蹄疫対策検証委員会の概要

(平成22年9月10日開催)

本日は、前回に引き続き、これまでの委員の意見交換やヒアリングの結果を踏まえ、議論を整理するため、委員間でフリーディスカッションを行った。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 今回の防疫対応においては、予防的殺処分を前提にワクチンを使用した。このような状況に陥らないためには、速やかな殺処分を実施することが重要であり、そのための改善方向を示すべき。
- 二度と今回のようなことが起こらないよう、発生予防と初動対応を徹底することが重要。
- 家畜飼養者の責任は大きく、たとえ零細農家であっても、危機意識を持ってもらうことが必要。また、大規模農家には、より厳しいルールも必要。
- 通報体制については、農場関係者から家畜保健衛生所、県、国にスピーディーに連絡できる仕組みとすべき。

これまでの議論の整理に向けて、次回会合において、引き続き議論することになった。